

令和3年9月7日

人吉市議会議長 西 信八郎 様

復興のまちづくりに関する特別委員会
委員長 宮 原 将 志

「市民と議会の意見交換会」実施報告書

このことについて、「市民と議会の意見交換会」を実施しましたので、人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱第8条第1項の規定により提出します。

開催日時	令和3年9月1日（水）午後2時～午後3時
会 場	総務文教委員会室
出席議員	復興のまちづくりに関する特別委員会 委員長 宮原将志、副委員長 西 洋子 委員 松村 太、牛塚孝浩、宮崎 保、犬童利夫、豊永貞夫、福屋法晴、本村令斗、大塚則男
団体名	共栄会
参加人数	8名
テーマ	葉山葬儀社、馬場醤油店、(有)厚地、佐伯鮮魚店、中尾クリーニングの5事業者はともに現在解体済みである。飲食店街として建物を建設するのであれば、協力したいと考えている。しかし資金が問題で補助金等が利用できればと思う。
意見交換会の概要	「復興のまちづくりに関する特別委員会」初の意見交換会は旧共栄会厚地孝治代表と宮原将志委員長の挨拶、出席者の紹介で始まった。 旧共栄会で準備された提案一覧と土地の字図を基に厚地代表から内容の説明を受けた。「中心街はこれからどうなっていくのかという声をよく聞くようになり、ここにいる有志と発展策を考えるようになった」、「今が歓楽街の大チャンスなのは。これを生かさないといけないと心配している」とここまでの経緯と主な開発案を示された。 屋台村、駐車スペースを兼ねた水害対応の1階を有する3階建ビル。2階は飲食店、3階は災害時避難所を兼ねる。公園、

温泉活用、チャレンジショップ、観光案内所、焼酎自販機、屋外イベント広場など。「これらを人の集まる場所にして回遊性を高めて、歓楽街の発展が人吉市の発展につながると考え、そうなるように願っている」、「補助金等の支援策を考えていただきたい」、「本来、まちづくりは地元が主導して、国・県・市がバックアップするのが普通だと思うが、このような危機的状況では行政がリーダーシップを取るか、地元と一緒に開発をすすめていってほしい」と説明があり、その後議員から質問と意見が出された。

「地権者のまとまり、意思疎通はできているか」、「他にも協力したいと言われる方がおられるか」、「市の都市計画担当と相談されているか」、「議員のビジョンの勉強のためになる場所などあるか」、「運営者と運営はどういう形になるのか」、「街に行くばいと、声を掛け合って出かけられる場所。人吉らしさを意見を出し合って作り上げてもらいたい」、「街中に人を運ぶやり方を我々も考えたい」、「統一感のあるまちづくりの起点にしていただきたい」、「モデルとして早期に立ち上げていただきたい」、「他エリアとも話をしていきたい」、「この話を周囲の地権者の方にもっと広げていってほしい」と続く中、旧共栄会参加者から「ほかの計画との情報共有が市の方でできるのではないか。」との質問が出てオブザーバー参加の執行部から「枠組みをしっかり整備して、そこに投資いただけるようにしたい。そのためにも今日の意見交換を第一歩として意見を更に集めていきたい。」と回答した。

また宮原委員長から「これから一軒一軒土地利用の調査も行われていく、今回はその中でひとつの計画だと思うので、補助等についても議員もしっかり勉強してバックアップしていきたいと思う」と意見を述べた。

また、厚地代表から「人が集まれば自然と回遊ができ、他エリアとは、そういう回遊をもって連携ができていくのではないかと思う」と意見あり。周辺との連携で近隣の歴史的建築物の活用の提案もあった。今回の計画案は「地区懇談会だより」に掲載し、計画の進展に合わせた支援や助成の在り方はこれからの課題として挙げられた。具体的な提案が起爆剤となり波及していくことを願い、補助金等の勉強をしていきたいとの挨拶にて閉会した。